

9月1日 防災の日

9月1日は「防災の日」です。

台風や大雨、地震などの災害に備え、日頃から家族や職場で話し合い、いざという時のために、避難場所の確認や防災グッズを備えておきましょう。

台風情報は常に最新のものを確認してください。

沖縄地方の自然災害で最も大きいのは台風による災害です。家屋の倒壊や浸水など様々な災害をまねきます。

台風は、沖縄地方に近づく頃、最も勢力が強くなったり、移動する速さが遅くなったりするため、沖縄地方では長い間台風の影響を受ける場合があります。

台風災害の防止・軽減には普段からの備えが大切です。テレビやラジオで沖縄気象台が発表する注意報・警報・気象情報を利用すると共に、早めの対策が重要です。

「台風災害に備える」 台風がくる前に

- ベランダや庭に置かれている飛び散りやすい物は、早めに片付けましょう。
- 懐中電灯や携帯ラジオ、飲料水などを準備し、停電や断水に備えましょう。
- トタンや水道タンクなどは暴風にあおられて飛散すると、周辺に危険を及ぼす可能性があるため、土嚢を置いたり、ロープなどで固定し補強しましょう。

台風が近づいたら

- 外出を控える。
- 危険な場所に近づかない。
- 台風の動きに応じて注意報や警報などが発表されるので、最も新しい情報を利用する。

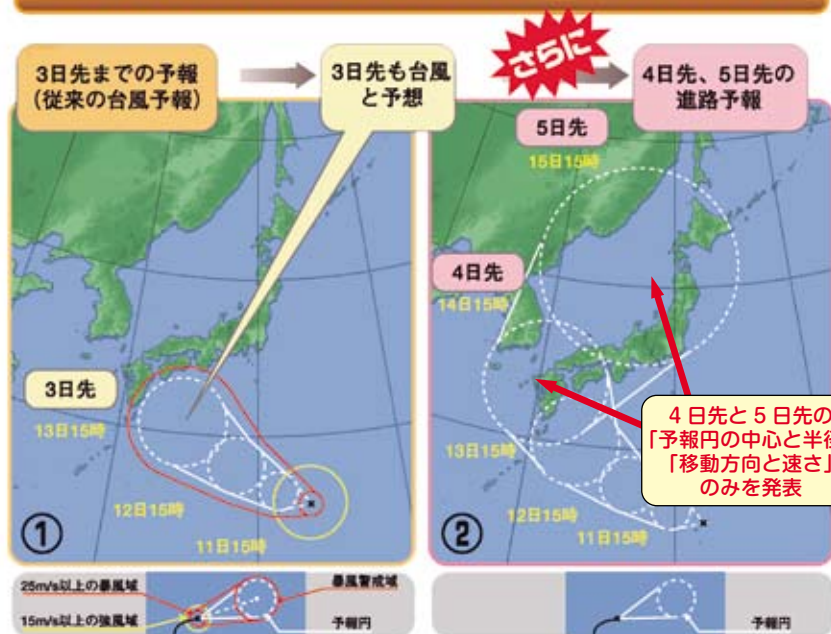
土砂災害

うるま市には、大規模な地すべり危険箇所や急傾斜地崩落危険箇所が多数あります。(市防災マップ参照)

これらの地域では、短時間に集中的に降る雨や長雨に注意が必要です。

土砂災害の前兆として、小石がパラパラと落ちる、地面にひび割れができる、斜面から濁った水が流れ出す、木の根が切れる音(パキパキ)が聞こえるなど、普段と違うと感じた場合には、早めに避

3日先も台風と予想された時には、5日先までの台風の進路を予報します。



難ししましょう。この場合、市や消防に通報しましょう。

また、気象台では、土中にどのくらいの雨水を含んでいるかデータを収集しており、危険と判断した場合には、テレビやラジオなどで「土砂災害警戒情報」を発信し、土砂災害の危険がある地域に警戒を促しております。